

# 2025(令和7)年度 第3回 サロン・ド・大学コンソーシアム大阪 大学DXを実質化するために現場の大学職員ができること

## 参加者アンケート集計結果

回答者数16名/参加者数24名 回収率66.7%

### 1.回答者について

#### (1)属性

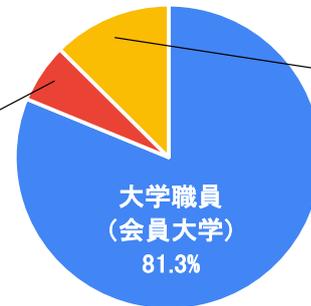
単位:名

大学職員(会員大学)	13
大学教員(会員大学)	1
大学職員(非会員大学)	2
大学教員(非会員大学)	0

16

### 回答者 属性

大学教員  
(会員大学)  
6.3%



大学職員  
(非会員大学)  
12.5%

### 2.本サロン全般について

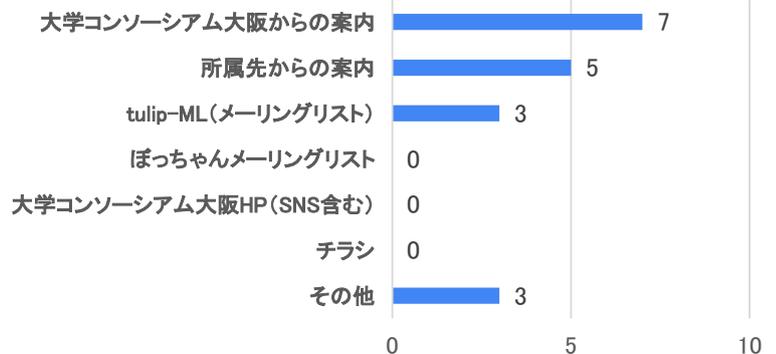
#### (1)本サロンを知ったきっかけ(複数回答可)

単位:件

大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	0
大学コンソーシアム大阪からの案内	7
チラシ	0
所属先からの案内	5
tulip-ML(メーリングリスト)	3
ぽっちゃんメーリングリスト	0
その他	3

その他:先輩職員からの紹介、JUAMでの告知、学内供覧

### 本サロンを知ったきっかけ

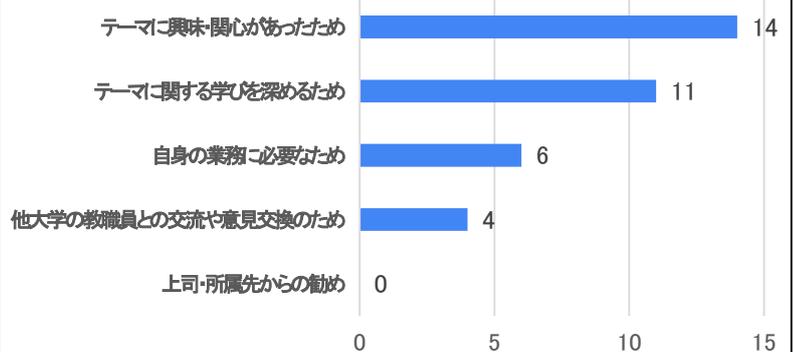


#### (2)参加理由(複数回答可)

単位:件

上司・所属先からの勧め	0
テーマに興味・関心があったため	14
テーマに関する学びを深めるため	11
自身の業務に必要なため	6
他大学の教職員との交流や意見交換のため	4

### 参加理由

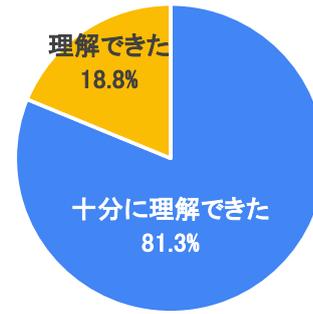


(3) 内容の理解度

単位: 名

十分に理解できた	13
理解できた	3
ある程度理解できた	0
あまり理解できなかった	0

内容の理解度

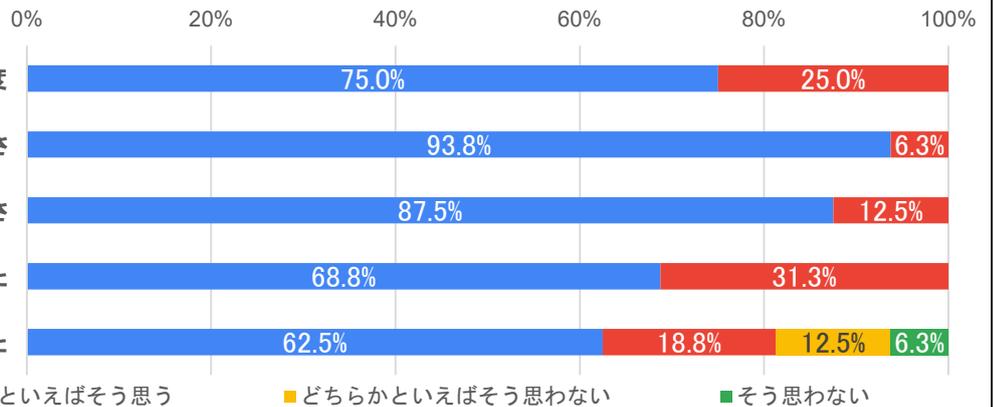


(4) サロンの内容について

単位: 名

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
内容について満足しているか	12	4	0	0
講師の説明はわかりやすかったか	15	1	0	0
提示された資料はわかりやすかったか	14	2	0	0
必要な知識を身につけることができたか	11	5	0	0
他大学の教職員と交流を深めることができたか	10	3	2	1

サロンの内容について



(5) 開催時期・時間について

単位: 名

適切だった	16
他の曜日・時間帯が望ましい	0

16

開催時期



#### (6)本サロンに参加して良かったと思われる点

・単にツールやシステム導入の話に終始するのではなく、「組織改革」や「目的」に焦点を合わせてDXをご説明いただけたことに共感を覚えた。
・大学のDX化について自分の力でもどうにかできる部分があるのではないかと考えるきっかけになり、モチベーションアップにつながった。
・所属先の教員とはまた違った視点でDXについて語ってくれたので、視野が広がった。
・講演、事前の質問への回答、情報交換の時間と、プログラム構成がとても良かった。
・組織の課題を客観的に考えるきっかけになった。
・学内では実施されていないような興味深いテーマの講演が聞ける点。
・場所が梅田ということで、定時まで仕事をしてから参加できた。
・会場の雰囲気も良く、講演後に交流の時間を設けていただいたことで、他大学の方と知り合う機会があったことが良かった。
・他大学の方と同じテーマで話をする事ができた。
・気軽に参加できる雰囲気が良かった。

#### (7)本サロンをより良いものとするための提案

・オンラインでも受講できる研修があればよい。(他1件)
・グループワーク等があればもっと交流や意見交換ができたかと思う。

#### (8)今後、本サロンで取り上げてほしいテーマ

・DX化に向けたチーム形成など初期段階の動き方、全体のモチベーションの維持に向けて必要なことは何なのか。
・講師の寺尾氏が手がけた支援事例を可能な範囲で具体的にお聞きしてみたい。
・管理職ではない大学職員として、どうあるべきか(どのように行動するべきか)を具体的に学べる場があればうれしい。
・大学職員の働きがいや魅力の深掘り。
・認証評価制度(講師:高田英一氏<神戸大学 戦略企画室 教授>)
・あえて別業界の現状などを紹介していただけると、ガラパゴス化した大学業界で新たな気付きやヒントが得られるのではないと思う。
・心理学関連の研修。

#### (9)上記以外の感想や意見

・DXとは何かから丁寧に説明いただくことで、あらためて学内のDX推進担当として何を目標とするべきかが明確になった。明日からの具体的な行動につなげたい。
・第2部で生じた疑問の答えが第3部で解決する構成になっており大変よかった。こんなに腹落ちしたセミナーは初めてだった。資料を必ず直属の上長、情報システム部長などと共有する。
・本学の体制について変わらないとあきらめてしまっている部分もあったが、「保守→変革」ができるように、自分でできることを考えて行動したい。
・とても学びの多い研修で、参考になる情報ばかりだった。